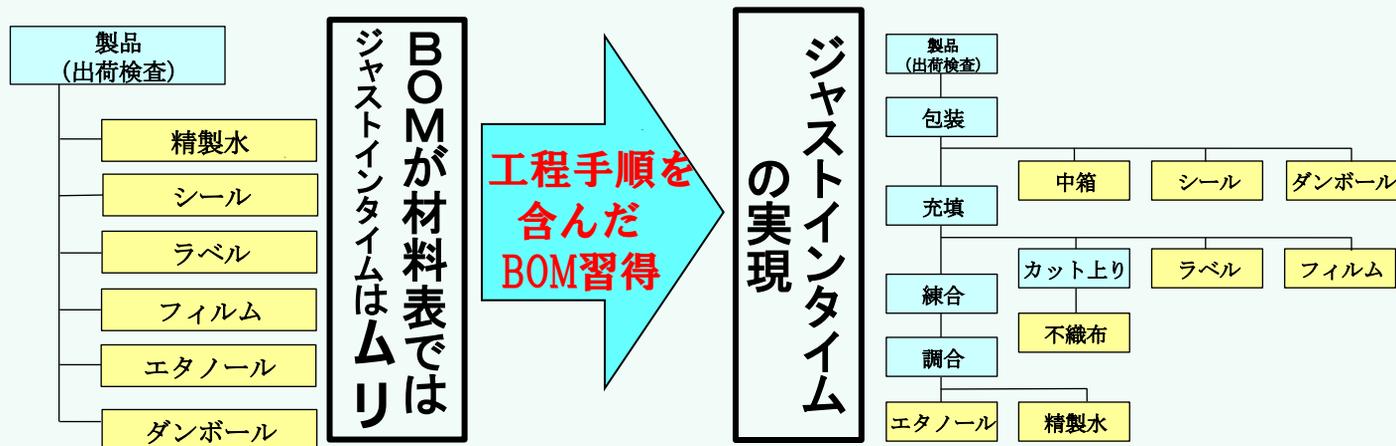


# 「BOM及び基準値設定講座」の募集

この講座で習得できることは、

## BOM構築と基準値が設定出来る

「工程手順を含んだBOMとDX実現の基準値の設定」の習得



(注) 今回の講師が1年間、講座に関してのご質問に助言します

### 講座カリキュラム

日時：2026年 5/15、5/22、5/29 (金) 13時～17時 3日間※3回目のみ10時00分～17時00分		
1 回目	DX推進のための管理技術及びデジタル技術習得 (部品表管理のDX)	①部品表管理の目的・課題 ②管理方式とデジタル技術の説明 (多様化時代の部品表－仕様展開の技法、E-BOM/M-BOMの連携、BOMの精度維持方式) ③部品表管理のDX成功例と業務フローとデジタル技術 (仕様展開、CAD連携、設変/新旧切り替えとデジタル技術)
2 回目	DX推進のための管理技術及びデジタル技術習得 (部品表管理のDX)	①リードタイム、発注点、安全在庫等々の、基準値をどのように設定するか？ ②DX推進の基準値設定を習得できる唯一の講座です。 ※講義/演習を通じて、受講企業ごとの部品表管理のDXの推進と、それを支える管理技術の適応方法を習得する
3 回目	業務毎の管理技術 実習	①工程手順を含んだ部品表の考え方を実習で習得する。 ②前項の実現のため、品目DB、構成DBの作成手順を習得する。 ③ICTへの登録手順を習得する。 ※DX推進の基準値設定を習得する

**受講対象者** ・ITベンダSE、情シス担当者 ・実務経験1年以上  
**受講形態** : ZOOM同時双方向型講座 (定員10名)  
**受講料** : 150,000円(税別)/人 (申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照)  
 中小企業は **受講料の52%の助成金 (実質受講料 79,600円)**  
 大企業は **受講料の33%の助成金 (実質受講料 109,900円)**  
**申込締切日** : 2026年 4月 15日 (水曜日) (助成金締切日)



# お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-bom>

または、メール「[asguide@kan-lab.com](mailto:asguide@kan-lab.com)」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。  
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。  
申込締切日 2026年4月15日(水)

## 参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

### 【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

## [ 本講座の特徴 ] オンライン同時双方向型セミナー

「BOM」は  
材料表ではありません



では、「真のBOM」は  
どのようにして求める  
のですか？

### 受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

### ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

### 聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

### 「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

### 大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

### 毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い掛け、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP：[厚労省助成金「人材育成支援コース」](#)「[事業展開等リスクリテラシー支援コース](#)」不明点はお気軽にお問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスクリテラシー支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、①項を申請した場合の受講料です。②項の場合は実質受講料が下がります。